



地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより

新年のご挨拶

地域医療患者支援センター・がん相談支援センター
センター長 高橋直人



あけましておめでとうございます。昨年度は大変お世話になりました。地域医療患者支援センター・がん相談支援センターを代表してお礼申し上げます。今年も「がん相談を含む医療相談」、「在宅医療を含む退院支援」、「FAX 予約などによる病診連携」、そして「セカンドオピニオン外来」など、当センターの活動にご理解とご協力をお願いいたします。さて、前述いたしましたセンターの活動の中でも今年の一歩の目標は、「がん相談」と考えております。平成 25 年度からのがん相談件数は表に示しますように年々増加しております。おそらく平成 27 年度は 3000 件に達するかもしれません。

| がん相談 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 平成25年 | 新規件数 | 52 | 60 | 61 | 73 | 55 | 49 | 57 | 62 | 62 | 62 | 65 | 48 | 706 |
| | 延べ件数 | 121 | 157 | 190 | 224 | 169 | 139 | 144 | 170 | 146 | 178 | 167 | 132 | 1937 |
| 平成26年 | 新規件数 | 76 | 60 | 77 | 80 | 77 | 68 | 87 | 54 | 83 | 70 | 91 | 73 | 896 |
| | 延べ件数 | 198 | 179 | 188 | 210 | 256 | 202 | 217 | 167 | 219 | 200 | 209 | 211 | 2456 |
| 平成27年 | 新規件数 | 88 | 76 | 92 | 92 | 84 | 93 | 95 | | | | | | 620 |
| | 延べ件数 | 270 | 203 | 267 | 260 | 213 | 237 | 268 | | | | | | 1718 |

病院でがんが疑われた時、またはがんを告知されたとき、多くの患者さんやご家族はびっくりし、その事実を受け入れるまで時間がかかります。ようやく事実を受け入れても、がんの治療や今後の生活についていろいろな心配ごとが出てきます。どうして自分ががんになってしまったのだろう。がんの診断のための検査としてどんなことをするのか。本当に診断はまちがってないのだろうか。がんの治療薬や手術などの治療法について教えて欲しい。いったいどのくらいの確率で治るのか。大学病院の評判はどうだろう。どのくらいお金がかかるのか。入院期間は。退院して社会復帰できるのだろうか。副作用はあるのか。その副作用に耐えられるだろうか。会社はがん患者の自分をまた受け入れてくれるのか。家族は、残された子供は・・・などなど。主治医としてまたは担当看護師として、患者さんの疑問にひとつひとつお答えしてあげなければなりません。

そんな時、センターの相談員は患者さんの本当の疑問や気持ちを引き出し整理し一緒に対応してくれます。私たちはプロの相談員として、患者さんの目線でわかりやすい言葉でお話しし、必要であれば、セカンドオピニオン、緩和ケア外来、がん看護外来、臨床研究支援センターなど適切な部署にご相談いたします。がん患者さんが大学病院に受診したときから、私たちのお手伝いできる場面があるはずで、患者さんとご家族には、ぜひ「地域医療患者支援センター・がん相談支援センター」を覗いてみたらいいですよと、教えてあげてください。そして昨年からはスタバの隣に、患者さんにとっても静かな空間を提供できる院内図書室もできました。愛称「ひだまり」です。がんに関するたくさんの図書を準備しております。月から金曜、9時からやっています。

私たち地域医療患者支援センター・がん相談支援センターはがん医療を含め大学の医療現場を支える縁の下の力持ちになればいいと考えております。「目に見えないプロフェッショナルなサービスをすべての大学病院の患者さんへ！」今年のセンターの活動にご期待下さい。



「皆様のご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます



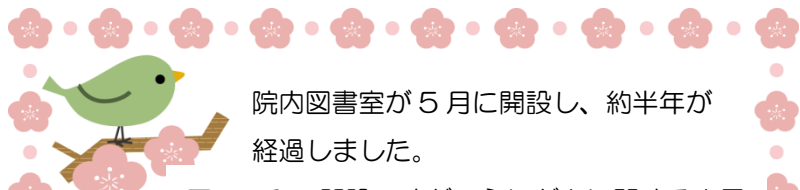
ケース1：本年、婦人科に入院させていただきました。先生方はもちろん、看護師さん、ヘルパーさん、お掃除の方に至るまで大変素晴らしかったです。科長先生には心温かいお言葉と診察をしていただき、主治医先生には丁寧な手術とケアをしていただきました。常に笑顔で助けて下さる看護師さん達にも感謝でいっぱいです。こちらの病棟でお世話になり本当に良かったです。ありがとうございました。

回 答：この度は、ご丁寧に温かいお言葉をいただき、スタッフ一同感謝いたします。いただいたお言葉に私どもも励まされるとともに、改めて身の引き締まる思いでございます。これからは患者さんのそばに寄り添い、誠意ある医療サービスを心掛けていきたいと思っております。患者さんが安心・安全に治療・療養出来るよう努めてまいります。

ケース2：大学病院の皆様方、いつもありがとうございます。さて、病院とは関係ないのですが、正門前の道路の段差（側溝）が気になります。クルマが跳ね上がり、救急車もゆっくり進んでいるようでした。行政の方になるかと思いますが、なんとかならないのかな。

回 答：ご意見をいただきありがとうございます。病院正門前の道路は秋田市の市道になっておりますので、管轄の秋田市に道路維持課にご指摘いただきました段差解消のご要望を伝えさせていただきました。今後とも気がついた点などございましたら、遠慮なくお寄せくださいますようお願いいたします。

院内図書室 ひだまりについて



院内図書室が5月に開設し、約半年が経過しました。

平日のみの開設ですが、主にがんに関する小冊

子や医学専門書等を備えており、インターネットでの検索スペースもあります。

今後も患者さん自身が病気について知識を得、学び、必要と思われる情報に触れることが出来るよう、改善を図っていきたいと思っております。



今年度より緩和ケアセンター主催の「がんの痛みの治療教室」が院内図書室に場所を移し、定期的開催されています（年4回）。また、患者会の活動の場としても提供をしておりますので、どうぞご利用下さい。

お問合せは
医事課医療サービス室
Tel 884-6039 まで

